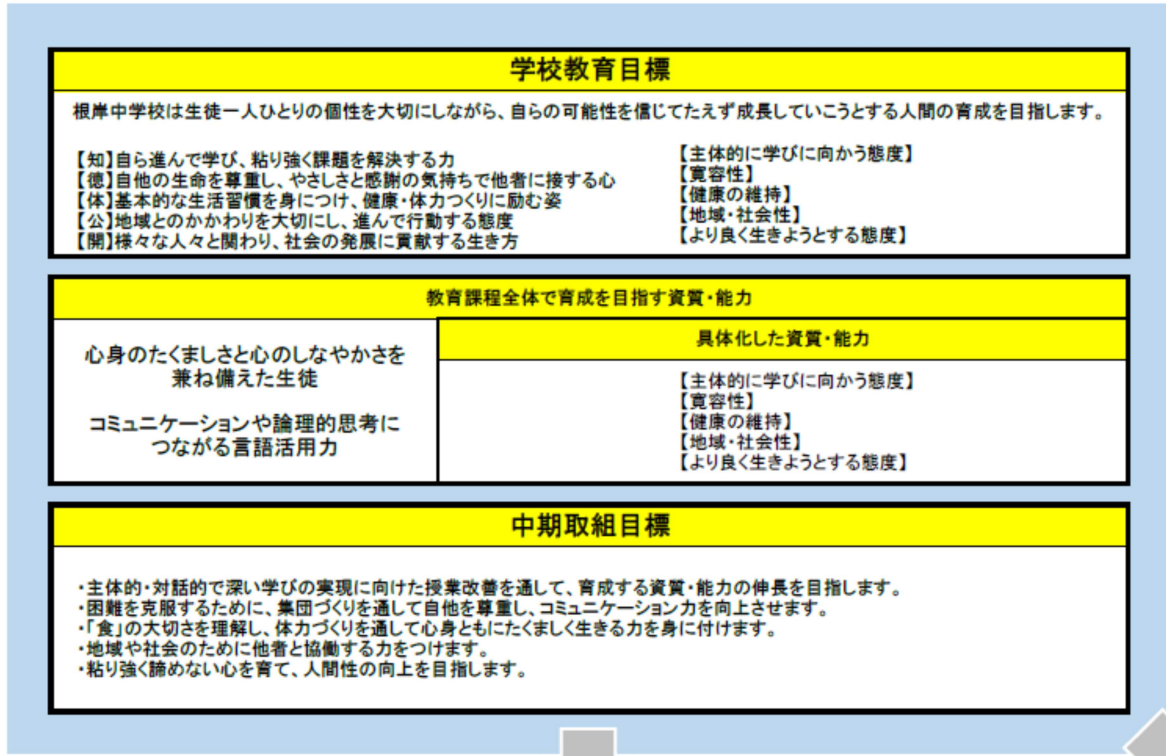


中期取組目標実現に向けた「三つのプラン」



学力向上アクションプラン

重点取組分野	具体的取組
充実した学びの保障	①新学習評価の二年目となり、昨年度の評価方法等を振り返り、研修会を実施し、授業改善・評価改善につなげていく。(学習指導部) ②GIGA端末を活用した授業展開、ネット配信教材を利用した自学習の推進を図る。(GIGA活用推進委員会) ③学力・学習状況調査の分析を通じて個々の生徒や学年集団の実状を把握し、指導の改善につなげられるよう支援する(教務)
担当	学習指導部

学力向上に関わる本校の状況

比較的落ち着いた授業に取り組んでいる。各教科においても、新学習指導要領に沿って、単元ごとの評価や振り返りを行っている。
 GIGA端末を活用した授業も積極的に取り入れ、主体的な学びにつながるよう生徒の支援を行っている。
 しかし、昨年度の学力・学習状況調査を見ると、2年生(現3年生)の学力、学習意欲、生活意識のすべてにおいて、他学年より低いことが際立っている。学力層〇となる生徒が多く、学力層の底上げをしていく必要がある。
 コロナとともに中学校生活をスタートし、休校や分散登校、集団活動の制限等が実施され、学習に対する十分な時間の確保が難しい中で、自信をつけることができなかったとも考えられ、今年度の大きな課題である。充実した学びの保障ができる取組を進めていく必要がある。

令和3年度

生活意識

今年度の目標
【知】自ら進んで学び、粘り強く課題を解決する生徒を育てる(学校教育目標より)自分の力を信じて、主体的に学びに向かう姿勢を育てる。

目標を実現するための具体的行動プラン	
上半期	○学習支援の充実を進める。 ・3年生の数学少人数授業、英語全授業でのTT実施 ・授業以外での学習支援 放課後学び場、夏休み学習会 ○学習状況調査を分析し、生徒の実態を把握し、指導方法や評価方法を見直し、授業改善につなげる。 ・指導主事を招いた評価に関する研修会の実施 ○ネット配信教材を利用した自学習の推進
下半期	○公開授業や授業アンケートの実施 ・生徒、保護者の声を聴く機会をもうけて、授業改善や個に応じた指導をさらに進めていく。